

令和6年度埼玉県学校総合体育大会<中学校の部>熱中症対策について

埼玉県中学校体育連盟

競技	熱中症対策	備考
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・競技日程の工夫（気温の低い朝夕の時間帯に競技を実施、昼間の時間に競技を中断する） ・長距離種目の給水を行う ・競技場出入口にミスト扇風機を設置 ・氷や経口補水液等を常備する ・通告や電光掲示を活用して随時注意喚起を促す 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、代表者会議、当日の打合せ等で役員、参加校へ周知する ・健康観察を随時行う
水泳競技	<ul style="list-style-type: none"> ・ミスト付き扇風機設置 ・日赤看護師派遣、救護室設置、経口補水液・救護用品用意 ・専門部所有のテントを会場に設置 ・会場係による巡回 ・熱中症注意喚起の放送および電光表示 ・競技役員に麦茶・スポーツドリンクおよび塩分チャージ支給 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、代表者会議、当日の打合せ等で役員、参加校へ周知する
バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房完備の施設のみを使用 ・屋外でのアップ禁止 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、代表者会議、当日の打合せ等で役員、参加校へ周知する
サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・試合中の水分補給タイム実施 前後半の中間地点で2分間のクーリングブレイク。 前後半の3分の2のところで飲水タイム。 ・冷房の効いた部屋（控室）を準備【会場によっては】 ・ピッチの周りにスクイズボトルを置いて対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議時に大会要項で確認。当日会場にて説明する。
ハンドボール	<ul style="list-style-type: none"> ①会場内の水分補給タイムアナウンス実施 ②1日2試合のチームには冷房が効いた控室を準備 ③気温に関係なく開館～片付けまで冷房 	<ul style="list-style-type: none"> ①代表者会議にて熱中症対策について説明 ②当日ミーティングにて熱中症対策の再度確認 ③観客席の定期的な巡回（目視、声掛け）
軟式野球	<ul style="list-style-type: none"> ①試合中に水分補給タイムを実施 ・3回終了後に休憩3分 ・5回終了後に休憩5分 ②1イニングで守備時間が15分以上になった場合は、途中で3分間の休憩を入れる。 ③冷房の効いた部屋を用意 ④本部で経口補水液を用意 ⑤イニング終了時に熱中症注意喚起の放送を入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①代表者会議にて熱中症対策について説明する。 ②当日のメンバー交換時に選手の体調、熱中症対策について再度確認する。 ③休憩、休息の際はベンチ内、ベンチ裏の涼しい場所に選手を待機させる。
体操競技	<ul style="list-style-type: none"> ①競技中、適宜、選手席及び応援席で給水を行う。 ②競技中、冷房を稼働させている。 ③本部で経口補水液を用意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出場校の監督に、会場での定期的な健康観察を依頼するとともに、異常があればすぐに報告させる。
新体操	<ul style="list-style-type: none"> ①メインアリーナは冷房で温度調整を行う。 ②サブアリーナは冷房設備がないため、アイシング用の氷、大型扇風機を用意。 ③本部で経口補水液を用意。 	<ul style="list-style-type: none"> ①出場校の監督に会場での定期的な健康観察を依頼するとともに、異常があればすぐに報告させる。 ②割当練習以外の時間はなるべく、メインアリーナの方にいるようにさせる。
バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房の効いた体育館での競技 ・試合中に、給水のためのタイムアウトを採用 ・看護師の配置 ・経口補水液の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・出場校の監督に、会場での定期的な健康観察を依頼するとともに、異常があればすぐに報告させる。 ・会場内で、定期的に水分補給等を促すアナウンスを入れる。

競技	熱中症対策	備考
ソフトテニス	<p>1、競技中</p> <p>(1) 審判ハンドブック掲載されている、ヒートルールを適用 ※ファイナルゲーム時に3分休憩時間を設ける</p> <p>(2) チェンジサービス時も水分補給可</p> <p>2、施設面</p> <p>(1) エアコンが効いた保健室を用意</p> <p>(2) 会場自体に屋根があるので、直射日光が避けられる</p> <p>(3) 水分補給、体調面の管理を放送にて定期的に促す</p> <p>(4) 経口補水液+氷を準備</p>	<p>①代表者会議にて熱中症対策について説明する。</p> <p>②大会1週間前より、健康チェックシートを記録する</p>
卓球	<p>・冷房の効いた会場で大会を実施</p> <p>・冷房の効いた部屋も準備</p> <p>・熱中症対策グッズを用意</p>	<p>・出場校の監督に、熱中症対策について説明する。</p>
バドミントン	<p>①朝の入場前待機→日陰を集合場所にする。</p> <p>②会場は、全室（アリーナ・控室等）冷房を入れる。</p> <p>③参加チーム・参加者は、選手・応援生使用の熱中症対策グッズ（携帯用クーラーボックスの中に、氷・保冷剤・氷嚢・経口補水液）を携行して大会に参加する。</p> <p>④本部にも熱中症対策グッズ（携帯用クーラーボックスの中に、氷・保冷剤・氷嚢・経口補水液）を用意する。</p> <p>⑤大会期間中、看護師依頼する。</p> <p>⑥体調不良者用の控室（ベッド付き）を用意する。</p> <p>⑦試合が連続する場合は、10～15分程度のインターバルを設ける。</p>	<p>①代表者会議にて熱中症対策について説明する。</p> <p>②大会期間中、引率責任者・選手に定期的な健康観察を放送で促す。</p> <p>③救急対応に関するアナウンスを大会当日朝行う。</p>
ソフトボール	<p>できる限り午前中2試合で大会を運営する。</p> <p>①試合中に水分補給タイムを実施</p> <p>・1イニングで守備時間が20分程度続いた時、もしくは打者が一巡した時点で給水タイムを設ける。</p> <p>・3回表終了後に給水タイム3分</p> <p>・5回裏終了後に給水タイム3分</p> <p>②タイブレークを行う場合</p> <p>・試合時間終了か7回終了後に給水タイム3分</p> <p>続く場合は2.5イニングごとに給水タイム3分</p> <p>③本部で経口補水液を用意する。</p> <p>④可能な会場は涼しい部屋を用意する。</p>	<p>①代表者会議にて体調管理・熱中症対策について説明する。</p> <p>②当日の受付時に、選手の体調、熱中症対策、観戦対策（応援生徒）について再度各チームに確認をする。</p> <p>③各チームでテントの用意や水分補給等を必ず行うように呼びかけをする。</p>
柔道	<p>①武道館内の室温の管理(空調使用)</p> <p>②水分補給を促す熱中症対策アナウンス(適宜放送)</p> <p>③各学校・顧問による選手の体調管理の徹底(代表者会議で伝達)</p>	<p>試合における本戦で決着が付かなかった場合の延長戦(ゴールデンスコア方式)は無制限のため、熱中症も心配される場面である。しかし、大会ルール(国際柔道試合審判規定)内には給水等の措置は入っていない。また、その時間を取ったが故に試合結果が変わってしまう可能性もある。延長戦での水分補給については埼玉県中体連柔道専門部のみでなく、中央団体とも意見交換をしていきたい。</p>
剣道	<p>原則公式試合及び交流大会は、空調完備の場所で設定している。</p> <p>試合に関しては、個人戦は、延長(2分)2回小休止、のち延長2回で面を外し水分補給の休憩(3分間)を繰り返し勝敗が決まるまで行う。団体戦は、連続試合にならないよう時間を空けて次試合を行う。</p>	<p>県委員長会議での周知、交流大会、代表者会議などで、必ず注意喚起を促す。稽古時も含め水分、塩分チャージについても積極的の取らせている。大会当日も含め、監督、選手、保護者に周知する。</p>
相撲	<p>・屋内相撲場で競技実施</p> <p>・こまめな休息、水分補給の呼びかけ</p>	<p>・引率教諭・保護者に選手の健康管理の徹底をお願い。</p> <p>・代表者会議でも体調管理について呼びかける。</p>
ラグビーフットボール	<p>①試合時間を20分から15分へ短縮</p> <p>②前半途中、後半途中に水分補給をする時間を与える。</p> <p>③本部で氷を用意</p>	<p>①熱中症の注意喚起を各顧問にする。</p> <p>②各部にテントやミストを用意するようにお願いをする。</p>
テニス	<p>・ヒートルール採用</p> <p>・1日の試合数をなるべく少なく設定</p> <p>・冷房の効いた部屋(クーリング室)を準備</p> <p>・ミスト付き扇風機設置</p> <p>・経口補水液、保冷剤を本部で準備</p>	<p>・出場校の監督に、会場での定期的な健康観察を依頼する</p> <p>とともに、異常があればすぐに報告させる。</p> <p>・2日間の個人戦においては気温の低い方に試合数を多くする。</p>